

大安寺の6年間は
学年を超えて

「青春を紡ぐ旅」

数年後この扉を開けた後輩へ

初めまして。この手紙を見つけてくれてありがとう。

私は中等の5期生でこの春卒業しました。(大安寺高校生と共存(?)した最後の世代です)

私がこの扉を見つけて好奇心に逆らえず開いたのは中2の春。とてもわくわくして、もし将来

あなたと同じようにこの扉を開く後輩がいたらこの感動を共有したいと思い、これを書きました。

貴方が何年後の後輩か分からないけれど、この学校の好きなおきところ、受け継いでほしい

校風を書いておきます。

① 縦のつながりが強い

中学生と高校生がこんなにも深く関われる学校はなかなかありません。百鳥祭の一体感も

すごい。

② 6年間の重み

これは最高学年になってみないと分からないかもしれません。特に6年生になると1つ1つの行事が「これが最後か」と思うと本当に感慨深いです。卒業式の感動も他の高校以上

だと思います。

③ 個性を認め合える環境

この学校はいい意味で個性的な人が多いです。1人1人がキラリと光るものを持っています!

そしてそれを認め合って共存しているのがすごい。

これからもそんな学校であってほしいです。

長々とごめんなさい。読んでくれてありがとう。

貴方のこれから的大安寺ライフが素敵なものでありますように。

校内の、とある場所に小さく置いて置かれたメッセージ
誰か知らないけれど、見つけた人に伝えたい
ずっと大切にしてほしいこと

熱い思いを、引き継いでください
そして、ともに歩んでいきましょう
ここ、岡山大安寺で